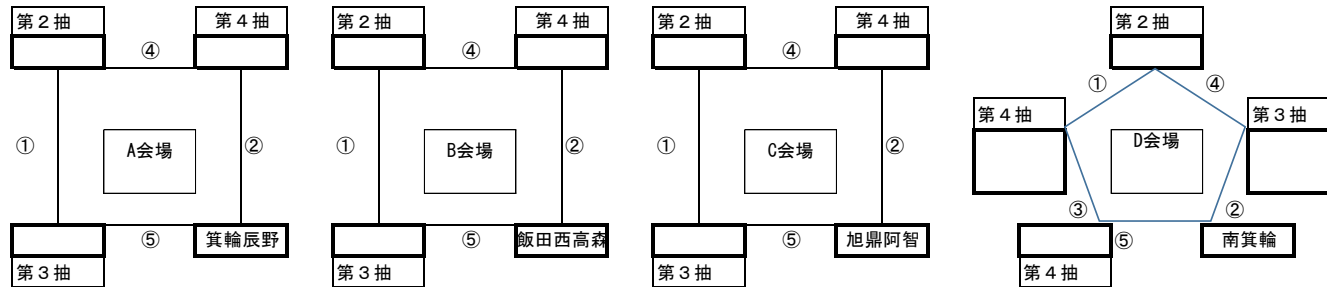
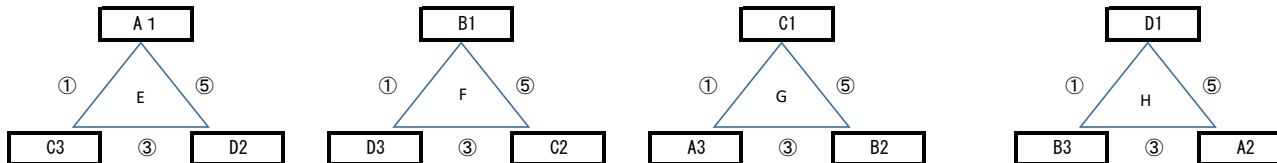


① 9:00～ ② 10:20～ ③ 11:40～ ④ 13:00～ ⑤ 14:20～
全て 25-7-25 3日目は決しない場合はPK

1日目



2日目



3日目

岡谷東部会場



3日目は4チームを2つのブロックに分け、進出チームが1試合ずつ行う。
勝った2チームを1位、負けたチームを2位として表彰する。
チラブベルト杯への出場順位は抽選で行い、次年度夏季大会のシード順は
チラブベルト杯の結果を反映させる。

(1) 夏季大会の結果、以下のようにシードグループを分ける。

- 第1グループ：箕輪辰野・飯田西高森高陵・旭ヶ丘鼎阿智・南箕輪
第2グループ：赤穂・岡谷合同・伊那東部・松川
第3グループ：諏訪南・緑ヶ丘喬木阿南一豊丘・茅野合同・伊那高遠
第4グループ：富士見原・社下諏訪・諏訪西・春富・飯島宮田
※松川、伊那高遠は夏季大会の得失点により上位グループとする。

(2) 組み合わせにおける配慮

- ① 第1グループを決勝トーナメントで対戦するように分ける。
② 以下はグループ内で各地区専門委員長による抽選。

今回大会の大会形式

例年夏季大会の順位から新人戦のシードを決め、基本的に2日目以降はトーナメントで大会を行ってきた。しかし、3年チームと新人チームの力量に乖離があり、シード順を的確に決めることができない課題があった。また、合同チームや拠点化が進むと共に、夏季大会から新人大会の参加チーム数も減り、ますます力量を測ることが難しくなってきた。
そのような状況の中で、来年度の夏季大会に向けて、より公平かつ透明性を配慮した方法でシード校を決めていくために、2日目はトーナメント戦ではなく、リーグ戦を行う。
(合同チームや拠点化により出場チームは減少しているのに、リーグ戦を行っても3日間の総試合数は大きくは変わらない。それでも負担軽減のため、3日目は2試合の半日とし、トータル2.5日開催とする。)
また、会場校の割り振りについては、会場校の固定により組み合わせが決まってしまう(例えば会場校になるとシード権を持つ会場校とは当たらないなど)という課題もあったので、そうしたことがないように、2日目は1日目の結果によって会場校を決定するという方式とした。